

# 「自閉症に優しい社会：共生と治療の調和の模索」プロジェクト

応募半年前のスクラッチから2年

「知らんがためにわれ信ず」  
マイケル・ポラニー  
スターリニズム批判の中で、科学を社会が包括的にコントロールすることの危険を指摘



研究代表 大井 学

# Michael Polanyi (1946) 科学・信念・社会

- 自由な世論からなる統治権は、科学の究極的な基礎が据えられる拠りどころでもある
- 科学—あるいは、精神の他の大きな領域—に妥当性を与えることは、共同社会のなかでしか支持されない信念を表現することである
- 人間による主要な知的過程の継続的な探究が、社会的献身の状態を必要とし、また、この過程に献身する社会でしか、人間は知的、道徳的に許容できる生を生きられない
- わたしたちの良心を導く実在についての知識と責務の認容とは、いったんそれらがしっかりと了解されれば、人間と社会のうちにある神をわたしたちに開示するであろう。

次兄は経済人類学者 カール・ポラニー。息子はジョン・ポラニー（1986年度ノーベル化学賞受賞の物理化学者）

# 知的障害なき自閉症 (1 - 2 / 100人)

高機能  
自閉症

アスペルガー症候群

非定型自閉症 (特定不能)

Broader Autism Phenotype  
部分的な自閉徴候 (数名 / 100人)

自閉症と非自閉症は不連続でない  
「神経学的定型者」にも自閉的な要素はある

# Autism Spectrum Quotient (AQ)

## 簡便HFASDスクリーニング、一般成人の 「自閉度」評価

- 何かをするときには、他の人といっしょにするよりも一人でする方が好き？
- 車のナンバーや時刻表の数字などの一連の数字や、特に意味のない情報に注目する（こだわる）ことがよくある？
- パーティーなどよりも、図書館に行く方が好き？
- 小説のようなフィクションを読むのは、あまり好きではない？

(上記のような質問50項目に4件法回答、HFASD群の約9割が33点以上；若林、2003)





こんな風景ばかり撮影するのはお好きですか？

1 6歳の音声言語表出困難な自閉症男子生徒の作品集から

your name



幼児期から「死ぬときはお母さんと一緒だからね」が口癖  
だったアスペルガー症候群の高校生撮影（脳血管障害のため  
18歳で急逝）

your name







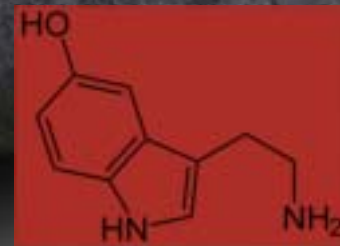
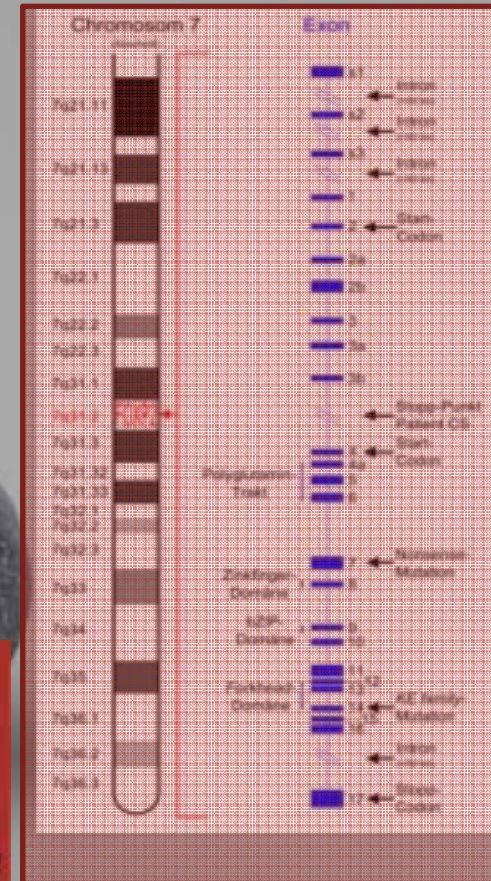
定型者が好んで撮影  
する記念集合写真



Oxytocin



自閉症をめぐる  
さまざまな情報



Serotonin

your name  
第7染色体

# なぜ今自閉症なのか？

?

100-200/10,000

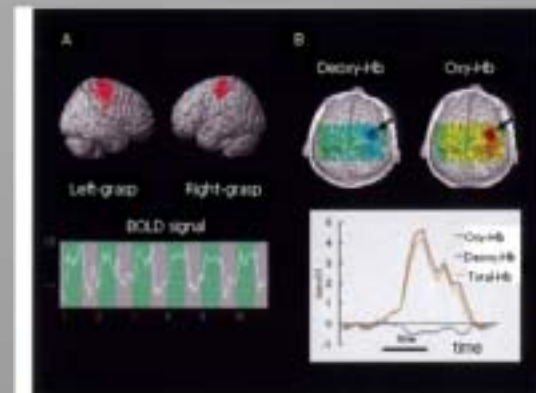
10/10,000

4-5/10,000

過去30年間の  
自閉症発現率の上昇



知的障害なき自閉症者の社会不  
適応問題拡大



正常成人脳におけるBOLD-fMRI(A)とfNIRS(B)の比較



自閉症脳科学の急展開

# 応募前の代表者の問題把握

先進国での  
先端医療技術開発への  
資本投下

精神科患者・マージナルな存在としての排除



定型者の脳神経強化志向

先進国で自閉症が社会問題化

市民は？

先進国  
自閉症  
脳科学の爆発

企業・通常学校・地域からの排除に晒される日本のHFASDアトリスク群

「一国」資本主義  
グローバル資本主義

SNS (Mixi) 上でのサブコミュニティ形成と再参入模索の始まり





# 薬物・代替医療に詳細な知識を持ち問題解決を図ろう とする高い知能を持つ30代アスペルガー女性症例 X

- 曾祖父 日本の鉄道建設に貢献
- 祖父、大手建設会社役員
- 祖母 唯一可愛がってくれた記憶
- 実父 東大卒、大手メーカー役員
- 義父 京大卒、数学者
- 母 芸術系大卒、プロピアニスト、虐待
- 姉 芸術系大卒、音楽家
- 本人 芸術系大卒、音楽家



乳幼児期虐待、小学生時代に教師の性虐待、小5睡眠障害発現、  
偏差値75 60東大コースからはずれる、中高時代早慶コースから  
も外れる、自殺企図・ウツで精神科入院。大卒後大手企業入  
社もウツ悪化により半年で退職、現在も精神科通院中 **your name**



# 大多数の自閉症は社会的困難が表面化して初めて気づかれる。時期はタイプによって異なる

高機能自閉症  
(早期の言語の遅れは4,5歳に追いつく)

アスペルガー症候群は言語の遅れがなく気づかれにくい。非定型自閉症はさらに発見が困難。

幼稚園・保育所での不適応

小中学校での不適応

高校・大学での不適応

就職活動の失敗・孤立

同僚・上司・部下顧客とのトラブル

結婚・子育て・介護・自身の高齢化における困難

3歳児健診

1歳6カ月健診

いじめ・不登校・精神疾患・不幸な事件

# 知的に正常な自閉症児者に認められる 精神医学的問題の一覧(N=539) 杉山(2010)

	N	%
気分障害	93	17.3
不登校	67	12.4
解離性障害	44	8.3
強迫性障害	29	5.4
統合失調症様病態	14	2.6
行為障害、犯罪	35	6.5

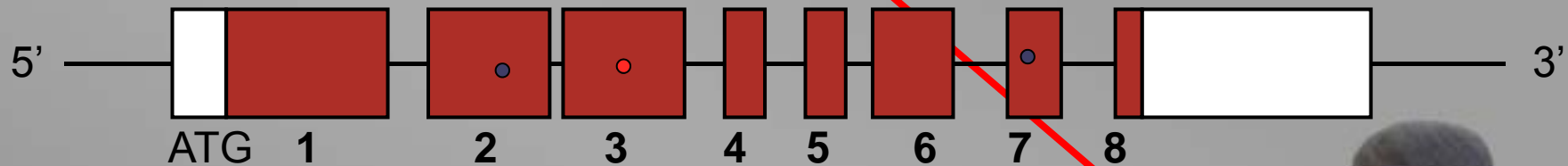
# 金沢大学 ( Jin,,,,Higashida,2007)で発見された オキシトシン関連遺伝子変異

## Human CD38 gene (4p15 #D84284)

T116T (xxC)  
4444C>T

**R140W (CGG)**  
**4693C>T**

I273I(ATC)  
5555C>T



自閉症スペクトラム障害にCD38遺伝子**R140W**単一ヌクレオチド変異 ( SNP ) を有する者が一定程度存在する

↓  
CD38のSNPを有する自閉症スペクトラム障害への、オキシトシンの治療効果の検討。

↓  
**社会はこのような事態にどう対応するべきか？**

# 共生か治癒か？

- 次々と発見される遺伝情報や脳科学の成果
- Defeat Autism Now! (自閉症撲滅！) or Cure Autism Now (自閉症根治)などの団体が、脳科学の成果を予防・治癒に転用するよう運動
- 自閉症者の苦難は早期発見と適切対応で緩和される
- 感覚過敏や対人ストレス対応の薬物治療のニーズが存在
- 自閉症者のユニークさを消すこと、多数派への同調を促すことが健全な社会の在り方か？
- 早期発見の是非、治癒の是非、「自閉症に優しい社会づくり」のための持続可能な協議体を科学者と市民、行政で……





# 共生

# 治癒

自閉症を優遇	自閉症との共生	自閉症には対象療法	自閉症を治癒する
<p>禁宴社会 コミュニケーションは文字通りのみ、 禁雑談 温度・湿度・照明・音量の微調整</p>	<p>みんなに優しい宴会 コミュニケーションの工夫 温度・照明などの個別選択の自由</p>	<p>幼少期からの集中訓練 社会的技能の訓練 苦難緩和の薬物治療</p>	<p>薬物で共感を可能に 脳細胞再生治療 脳手術（電極・ケーブルなど埋込み）</p>
<p>サブ・コミュニティの独立 自閉症だけの街・会社</p>	<p>自閉症と定型がともに働ける会社モデル、ともに住める街</p>	<p>不適応予防や不適応自閉症者対策</p>	<p>自閉症者や家族の意思決定を支援 乱用防止</p>

在園児の1割程度が自閉症・アスペルガーでアトリスク児も目立つ幼稚園での、市民と研究者による、ひざを交えた科学技術開発を巡る生々しいカフェは、幾多の論点を浮かび上がらせるも、討議は中断。なぜ？（認識共有セミナー型と定点型・出前型・コンセンサス会議でプロジェクトメンバーが多忙化？・・・**なんといっても研究者がイリタレイト**）



\* その人でなくなってしまうわないか？  
\* 出生前診断はできるのか？ etc.

オキシトシン療法とMEG/NIRS早期発見をどう思いますか？

自閉症幼児が多数在園する幼稚園の父母と研究者のサイエンスカフェ2009

your name

- \* 自閉症の基礎研究はこんなに進んでいるの・・・
- \* 当事者の声を始めて聞いた・・・
- \* 幼児から成人までの問題の広がりが見えた・・・
- \* 早期発見しても受け皿がないではないか・・・
- \* 職場の中にもそれらしい人がいる・・・
- \* 企業家も何かしなければならぬ・・・
- \* 私はアスペルガーではないのでしょうか？
- \* 例外的少数者の問題ではなさそうだ・・・ etc.



市民対象

大学生・教  
職員対象

保育者対象

認識共有  
目的セミナー型  
「カフェ」

Dec.2009-Mar.10

扱いに困る子供  
が増えている

子ども時代から企  
業人となるまでの  
困難と適応につい  
て報告、受診へ

幼稚園  
児父親  
と研究  
者合座

自閉症児の  
いるクラス  
は難しい

託児  
NPO

幼稚園  
オヤジ  
の会

自閉症者の  
企業内適材  
適所処遇検  
討の経営者  
カフェを！

公立小  
学校

出前サ  
イエンス  
カフェの  
展開  
2010



ひきこ  
もり親  
の会

幼稚園  
児のお  
母さん



30、40代引きこも  
り成人の相当部分  
は自閉症かも

「私もアスペ  
ルガー。虐待  
された」

自閉症の子を育  
てる母親と周囲  
の母親との関係  
は？



# アト・リスクの会社部長X氏の体験談

某国立大学工学部中退（講義室に入れない・研究室の人間関係、体に触られたくない）

AQコンスタントに40前後、子どもの時から周囲とうまくいかない

アルバイト先の理解のある企業経営者に拾われ、現在専門的部長職。穏やかで論理的で、礼儀正しく、高い職業的な達成を遂げている成人としか見えない

「自分が話したことが相手にどう伝わり、相手が言うことを自分が適切に理解しているかがよくわからない」不安感。

今まで何度も言われてきた罵声 → 萎縮・開き直り  
社会に認められることにより、業務遂行への意欲が湧く  
精神科受診を検討。自分と似た子どもたちにアドバイスしたい・・・

「あなたは部長として、かつてのあなたのような若者が面接に来たら採用しますか？」 - X氏「いいえ、採用しません」

話を聞くと、夫や  
息子は多分自閉症  
だと確信した。

自閉症の本質が  
よくわかった。

要介護や対応困難  
な認知症高齢者の  
中にアスペルガー  
が相当いそうだ。



毎月22日  
定点サイ  
エンスカ  
フェの展  
開2010

精神科医は気づ  
いていないけれ  
ど、作業療法に  
来ている外来患  
者の症状は自閉  
症そのものだ。

特別支援教育がスタートし  
て、アスペルガーはどんど  
ん特殊学級に移されている。

# 市民参加「自閉症に優しい社会」勉強会

- 教育社会学研究からみた自閉症
- 自閉症にやさしい社会の条件—市民の自閉症認識に関する調査研究
- オキシトシンと自閉症スペクトラム障害
- 発達障害と幼児教育
- 自閉症に優しい大学 - 授業を変える -
- I氏との対話：自閉症と就労・職場コミュニケーション
- 自閉症研究のELSIと社会的意義
- 自閉症の原因遺伝子と治療：オキシトシンをめぐって
- 科学者 = 「科」学者（哲学者と遺伝学者の戦い）



自閉症脳科学の全体像を科学者自身が市民に提示する必要  
「市民と語るオキシトシン・MEG/NIRSセミナー」  
「自閉症サイエンスカフェ@本屋さん - 「自閉症本」をもちに文理研究者 + 市民の対話

# 自閉症にやさしい社会の実現に向けたコンセンサス 会議2010「自閉症を巡る科学と社会の対話」

9月12日 キックオフ

金沢市長 金沢大学学長 21世紀美術館館長 挨拶  
大阪大学総長 講演

研究者による情報提供と質疑応答

自閉症とは / 自閉症の生物学的機構（脳・遺伝子） / 臨床場  
面における診断と治療 / 自閉症の脳イメージング技術 / 自閉  
症と教育 / 自閉症と就労 / 自閉症と老後

公募市民・企業経営者・幼稚園保護者・当事者・新  
聞社・放送関係・横河電気・大学生・医療/福祉/教  
育の現場関係者・研究実施者など約70名

10月17日午後 論点の整理・分類と明確化

11月14日午後 提言の文章化と発表

6グループ約40名ごとにファシリテーション

your name



解



# 自閉症にやさしい社会

= '何かを学ぶ' =

何かしら何か 分かる社会

(善悪の第三者)

自閉症とは？

自閉症は生まれながらの脳の機能障害で、コミュニケーション能力が低い状態です。

自閉症の診断は、医師が行います。



自閉症とは？

自閉症とは、生まれながらの脳の機能障害で、コミュニケーション能力が低い状態です。

自閉症とは？

自閉症とは、生まれながらの脳の機能障害で、コミュニケーション能力が低い状態です。

自閉症とは？

自閉症とは、生まれながらの脳の機能障害で、コミュニケーション能力が低い状態です。



your name

課題 自閉症者1人1人の個性を踏まえた  
周囲の理解

(理由) 自閉症者とのコミュニケーションは、  
通常とは異なる。コミュニケーションの  
特性を理解し、適切な対応をすることが  
コミュニケーションの鍵となる。また、  
自閉症者自身の個性や能力を最大限に  
引き出すことが大切である。



自閉症は1人ひとり異なること

- ・効果的かつ具体的なコミュニケーション方法
- ・強みとして何が必要かにつけて
- ・本人の気持ちと共有
- ・適切な環境について (好き嫌い、視覚など)
- ・自信をつけてあげる

話し合うこと

B



your name

C

社会...を  
支えるフレームワークとして

人

就職支援

- 1人1人に合わせた
- 職業マッチング
- 職業の詳細な分析
- 発達障害者1人1人の
- プロフィール作り

企業  
継続性の高い就業サポート

- 1人1人の情報提供
- 理産適応の工夫への
- コンサルテイング

発達障害  
支援特区

研究  
知の拠点としての金沢

- 臨床
- 社会システム
- 情報ネットワーク
- 教育実践方法

学校

- 教育支援スタッフの増強
- 地域ボランティア
  - 退職教員
  - コーディネーター
  - アシスタント

公民館

- 生まれた時から  
の情報提供
- 社会福祉センターとしての
  - 人の配置
  - 親・妊婦への情報提供

支援

誰に？

- 首長
- 教育長
- PTA連合会長
- 経済団体
- 公民館長
- 研究者
- 医療従事者
- 当事者 家族

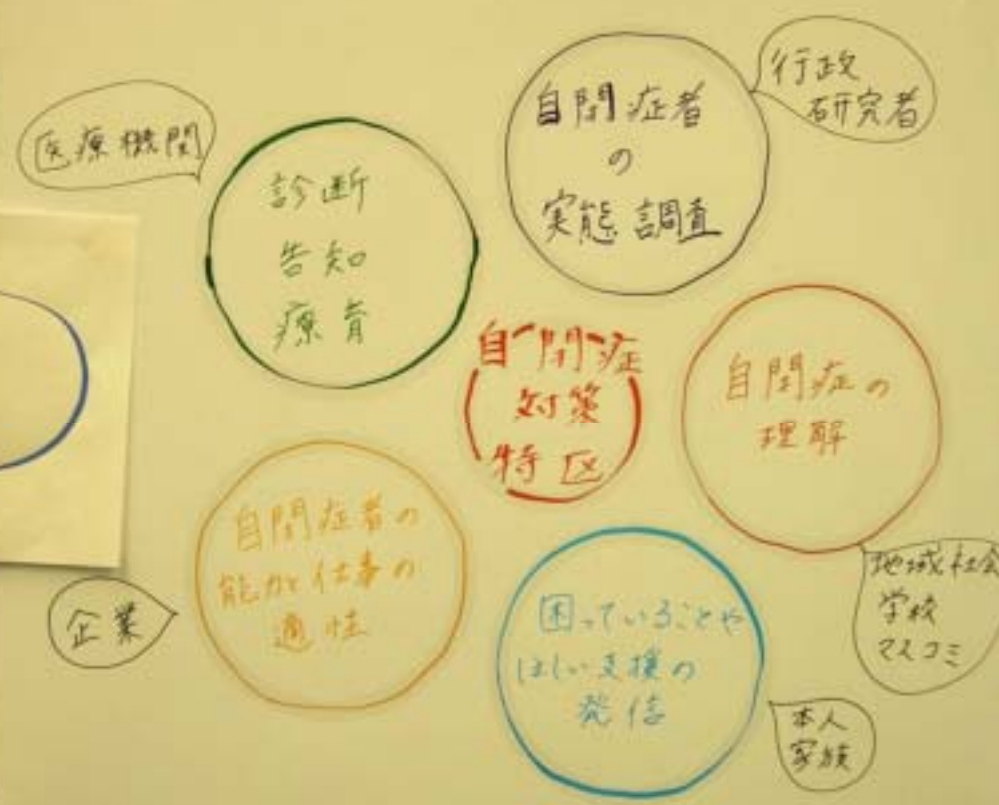
金沢ならではの特色を  
生かした サポートシステム  
の開発と普及



your name



【重要課題】自閉症の人が社会参加し、居場所を見つけるための就業支援—生活支援—を見つけるために—  
 なぜ？ 自閉症の人を理解する教育情報が不足している。



**【特区】**

正確な実態調査、啓蒙、教育支援、医学的実証研究、経済的実証、人材育成をセットにした自閉症者の就業支援制度の確立を目指した、国指定のモデル地区。世界的に注目される石川県発の集約的な問題解決を目指す。  
 (正確な発信)



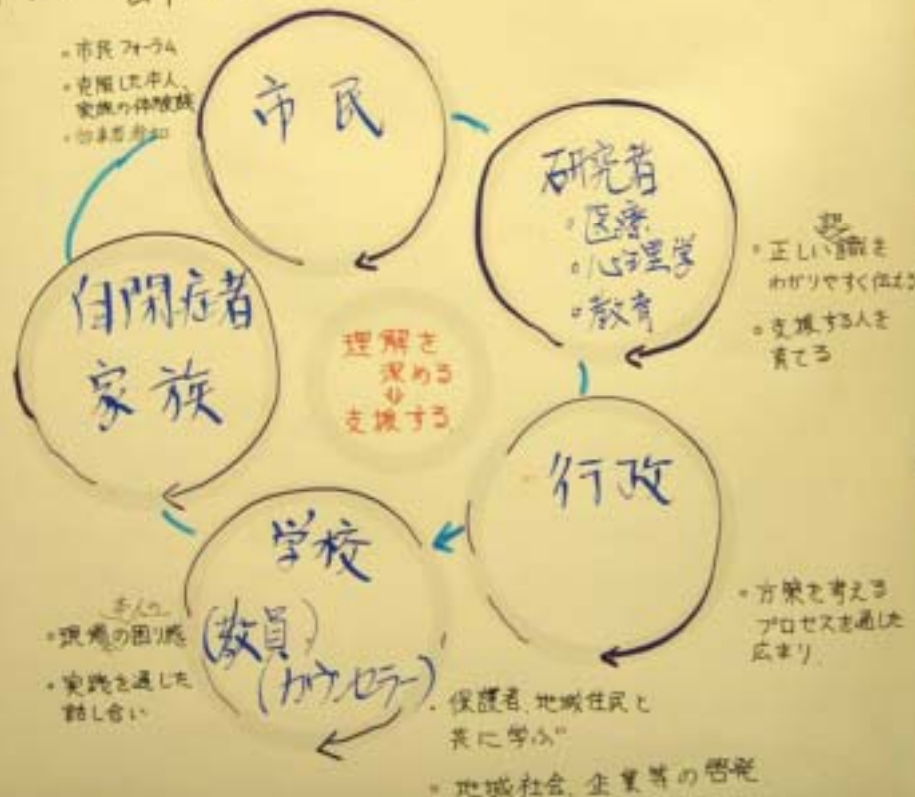
your name



現状: 自閉症をどう捉えるかがあいまい  
病気? 個性? どう向きあうか?

問題: 自閉症への理解を深めるための方法

GOAL: 自閉症に優しい社会を当事者と共に作る



☆ 各層の会話を深め、社会全体の理解向上につなげる。



your name

# 解決の糸口としての 就労・自立

自閉症と深く  
問題点

- ・自閉症に対する理解の偏り
- ・コミュニケーション能力偏重の会
- ・個性にあつた教育 類の  
加性

自閉症の

社会還元

マスタリア

社会的認知

役割

自閉症に  
優しい社会  
の創性

誰による

何の話し合いか

- 適切な職種
- 適切な支援
- 制度設計

評価

企業・当事者・社会  
のメリット  
デメリット

制度化

↑  
社会実験

市長知事  
(行政)

企業

当事者

支援者

研究者



社会の関心は共生だけにしかないのか???  
ex. 北陸中日新聞元旦1面

自閉症者と協力して、彼らが安定就労・自立できる社会をめざすべき

\* 自閉症の実態を正確につかむ必要  
\* 自閉症者のために何をしたらいいかわからない  
\* コミュニケーション偏重の現代社会を見直すべき

当事者・家族・専門機関・職場・学校・学校の連携体制を構築すべき

「自閉症対策特区」を、金沢市特有住民自治システム + 企業モデル開発 + 自閉症研究産官学連携で！

コンセンサス会議  
「自閉症を巡る科学と社会の対話」2010金沢の成果と波紋

「自閉症の未来を語る会」に多彩な市民が参加  
Dec.2010, Feb.2011

your name

# 「コンセンサス」ファシリテーターのコメント

- 市民が自閉症当事者とともに議論する重要性の気づき。
- 当事者の多様性を配慮した議論の設計が課題。
- コンセンサス会議とPJの研究グループとの往還が必要
- 参加者ごとに異なる議論の暗黙の前提の明示化を
- 各コミュニティの代表者として「自閉症共同体」構築そのものを議論すべき
- 関与者としての「共同体構築」貢献の明確化
- どんな社会実験をどんな関与者で？を議論
- 参加者が問題（知識の未普及等）を発見できた。
- 市民が理解できることばで社会に発信できた。



多様な関与者間対話

「共同体」構築を巡る関与者  
代表者 + 利害なき市民の会議

W関与 X関与 Y関与 Z関与 市民ブレイン?

name



# 今後の市民と科学者の対話の行方

ともかく「コンセンサ  
ス会議」2010

多様な関与者間  
の対話の展開

「共同体」構築を巡る  
コンセンサス会議

自閉症の未来を語る会（市民・当事者家族・メディア・現場人等・研究者）の創発 12月、2月、4月・・・

- ・ 共同体のミッション合意
- ・ 共同体の当面の論争点（共生と治療）の扱い方

自閉症共生・治療共同体」のも  
とでの生々しい議論へ

# 大学生の自閉症認識

- 付属図書館「ほん和カフェ」開設記念カフェ
- 共通教育科目「発達障害と出会う」（担当大井。演習15回終了後）1年生25名（人文2、医学8、保健14名）

「AQ（自閉症指数）の定期健康診断での実施は賛成」「自分が両親からアスペルガーだといわれて育った、AQも40を超えている」

- 学生主催ランチョントークDec.2010（自閉症＝閉ざされている、しゃべらない、閉じこもり、反応がない）（人文1、国際1、経済1、保健1、特別支援2）

「AQ実施賛成5、反対1」「心理テスト感覚」「冗談が分からないってヤバイ、普通じゃないのかもと感じる」「義務化はまずい」「自閉症は異常だという偏見を広める」「コミュニケーションの過大評価につながる」

# 大学生の障害と病いに関する意識調査

## 調査の概要

調査期間：2010年7月~2011年1月

調査対象：石川県内のA大学の学生

（比較のため別の2校でも実施）

今回の集計結果はA大学のみ

調査方法：授業時間内に配布および回収、自記式

回収数：1701票（他の2校を含めて1849票）



# 認識率の低い「広汎性発達障害」、「高機能自閉症」、「アスペルガー症候群」

- 「自閉症」に関しては認知度はかなり高いが、「広汎性発達障害（PDD）」や「高機能自閉症」、「アスペルガー症候群」については認知度が低い。
- ただし、「名前」だけなら「高機能自閉症」、「アスペルガー症候群」については約5割～6割の割合で認知されている。



# 大学生の自閉症に関する知識

- 自閉症の原因を「遺伝」であると考えている者の割合がかなり小さい（12.5%）。
- 「自閉症は心の病い」、「自閉症の原因は脳機能の障害」と回答する者は約5割。
- 「いまの社会」が自閉症を生み出していると考えている者が24.7%。
- 自閉症の原因を「親の育て方の悪さ」と回答する者の割合は極めて小さい（6.4%）。



# 学生は「共生」より「適応」や「治療」を求めているのか？

- 自閉症の児童が普通学校や通常学級に「適応」すべきと考える割合が高い（60.2%）
- ただし、自閉症の子どもが学校を自由に選択できるようにしたり、普通学校や通常学級の環境整備は必要とする割合も高い（約7割弱）
- 自閉症の子どもと他の子どもが学校で一緒にすごすことは問題が多いとする回答の割合が4割弱（38.0%）。

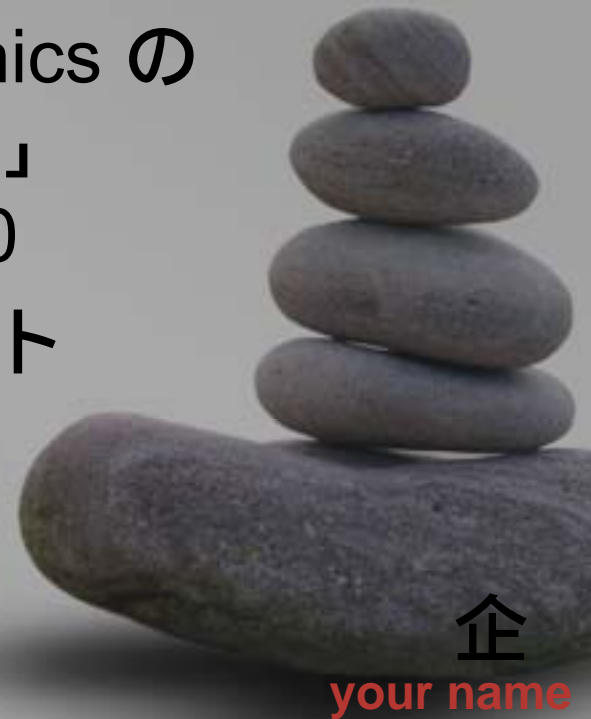
# 障害の早期発見や診断テスト、告知などに関する意識

- 障害の早期発見にはきわめて肯定的（91.7%）
- 大学入学時の障害の診断テストについても肯定的な回答の割合が高い（60.0%）
- 専門家に対しても肯定的な回答の割合が高い（45.5%）



# 関連事業との連携

- 市民公開自閉症セミナーNov.2009（金沢大学子どもまなごころの発達研究センター）
- 学術会議サイエンスカフェ金沢Jan.2010
- 連合大学院小児発達学研究科国際シンポジウム  
Social Brain: Autism and Neuroethics の  
一部を市民公開「自閉症の倫理学」  
by Prof. Barnbaum, D. Mar.2010
- 金沢大学子どもまなごころのサミット  
Nov.2010（市民公開）
- サイエンス・ショップ受託  
IT系NPO・当事者家族NPOと  
地元企業自閉症雇用実態調査実施



企

your name



金沢大学子ども心のサミット：ほくりく健康創造クラスター、  
子どもこのころの発達研究センター、連合大学院小児発達学研  
究科、RISTEXプロジェクト、JSPS若手大航海プログラム

## 治癒か共生か：自閉症早期発見をめぐる 科学と社会の対話

- **金沢21世紀美術館長** 「近代以降、美術的価値を人との  
共通性よりも個性に置いて展開してきた。ゴッホのよう  
に世界を見ることができる人はいない」（ゴッホは自閉  
症と想定されている）
- **元幼稚園保護者会長** 「自閉症の知識≠理解である」「自閉  
症者が感じる困難、彼らと接する私たちが感じる困難が  
ある」「科学の進歩に社会は柔軟に対応できるだろう  
か？」
- **NPOアスペの会石川保護者 / 薬品販売会社会長** 「就活の  
学生にはアスペルガーらしい人がある。こだわりが強く  
営業には不向き。採用しない」

# 伝統的共同体にある公立小学校で何が起きるか？

- 父親の虐待を受けた高学年男児ASDの場合
- 女性性への憧憬：若い女性教師の体に触る、体育の着替えを覗く 女性教師のトラウマ
- センスのいい担任の長い試行錯誤 逸脱行動に淡々と対処（例 給食のスープを自分にかける） 大騒ぎせず諭す同級生の力を引き出す
- 教育委員会主催の「研修会」で聞いた対処法は無駄であった
- 他の教師はオロオロ（虐待トラウマの再燃時に学校内に隠れる、学校を出ていく）
- よき担任と同級生の中での安定はいつまで続くか？いつ起きてもおかしくない精神的危機
- 担任のあせり。授業中の不規則発言にまわりが反応し「進度が遅れる」

# 研究者は？

- ともかくサイエンスカフェに！22回にのべ77人（19人）（徐々にリタレイトに）（文系消極的はなぜか？）
- 当事者、家族、市民に会って認識がかわる（例 診察室にいたらわからないですね）
- 研究は研究者の疑問を解くための作業という強固な認識も維持
- 市民の素朴な疑問とかみあわない - 「今の研究を続けるしかない」IFが一番！
- 「市民の考えを聞いて感動しました」（プロジェクト外のオキシトシン研究中T大精神科准教授）
- 医学系と人文系のコラボが進展（哲学者と遺伝子学者のバトル2時間「オキシトシンはなぜ効くといえるのか？」）

# 医系研究者のコメント

- 遺伝子学者：自閉症の生物医学理解は黎明。治療の是非を市民と議論することと同時に。治療可能性が現実化している事の方がまず知らされるべき。治療する必要のない部分とそうでない部分を患者家族がチョイスできる状態を。
- 精神医学者：ネットワーク形成という効果は重要。研究者と市民はギブ&テイクだ。文理融合に興奮。
- 精神医学者：自閉症に関心を有する市民の拡大を期待。関係者との意見交換は重要。
- 精神医学者：コンセンサス会議では自閉症問題を前社会包括的に考えることができた。未来を語る会は、我々の今後の方向を考える機会となった。自閉症とともに生きることは多様な価値観の受容である。



# 文系研究者のコメント（一人だけ）法学者

- 研究者がそれぞれの専門性を基礎に自己紹介をし、市民との対面での会話をしながら、何が分からないのか、何を気にしているのかを直接確認しながら、リアルタイムでの双方向の丁寧なやりとりが重要であると思う。時間がかかるが、書物やネットで一方的に流すというのではここまで進んだ科学技術に関する情報を届けたことにはならない。理解がどのくらい得られたのかを手応えを感じながら進む、あるいは退くことが大事だと考えるようになった。
- 技術は未来を目指すものであることを、話題提供者からの話で実感出来た。その未来は、自閉者の未来である以上は、自閉症者に語ってもらうことが必須である。そのことを自閉症者自身に理解してもらって、語ってもらうように働きかける方法と、雰囲気はこれからは大事

# 市民のコメント

## コンセンサス会議

- 専門家は素人にわかる情報発信を
- 研究者主導
- 研究者は深く考えていると思う
- 目指すものをもっと熱意をもって
- 対等な対話の強制
- 「来年は担当から外れるから」（行政）発言！

## サイエンスカフェ

- ハエの遺伝子で自閉症研究が新鮮
- 専門家はどう揺さぶられたのか興味あり
- 気づきがいっぱいあった
- 研究と現場に隔たり。でも埋める試みに意義あり
- 研究者の話は難しい



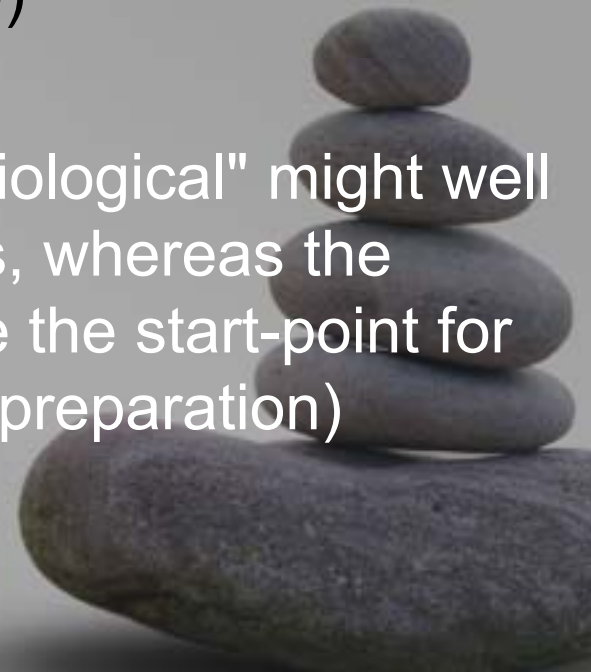
# 共生・治療問題は地域自閉症共同体の イシューにならざるを得ない

- 企業には余力がない（障害者雇用の現状）
- 実業人の認識はきわめて現実的
- 産業構造を変えないままで共生は困難
- 経済学者・経営学者の参加が必須
- 既成産業構造への参入では治療も選択肢
- 既成学校社会での共生はきわめて危うい
- 特別支援学校の子ども一人に年額1千万以上かけるシステムに取り込むと破綻する

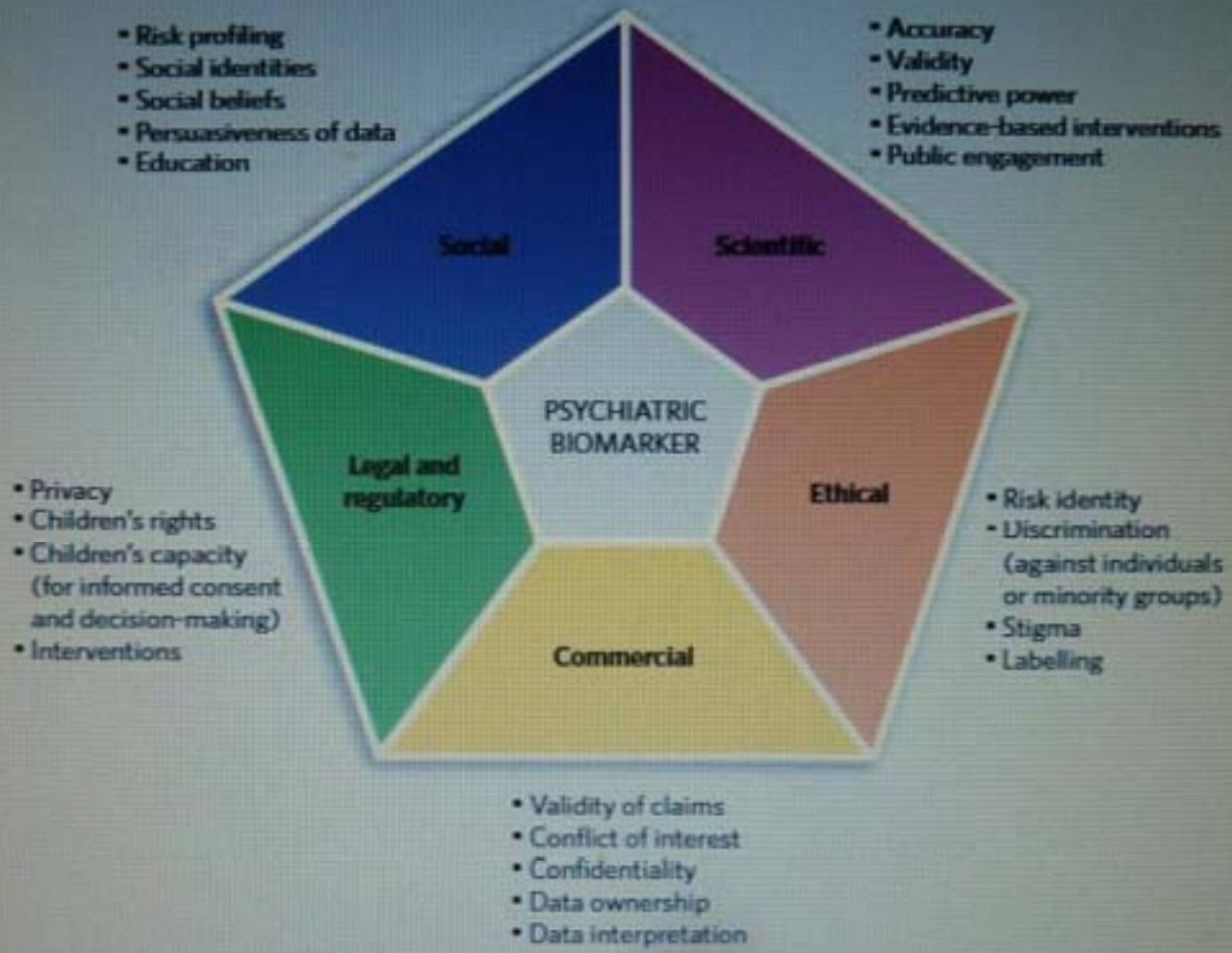
# 共生・治療問題の議論の行方？

“But biomarkers alone, taken out of context of environmental influences, are unlikely ever to provide complete explanations for children’s behaviour or a forecast of how children’s lives will unfold. Biology is not destiny: biology provides information about potentials”. (Singh & Rose, 2009, Nature, 460)

We feel that the phrase "Destiny could be biological" might well be the start-point to a debate on biomarkers, whereas the phrase "Biology is not destiny" seems to be the start-point for western people. (Oi, Shibata, Higashida, in preparation)







**Figure 2 | Issues that influence the use of biomarkers in psychiatry and beyond.** As the search for psychiatric biomarkers increasingly shapes research, as well as clinical and non-clinical settings such as classrooms and courtrooms, many issues need to be debated, studied and resolved. These include social, legal, ethical, commercial and scientific issues.

involves  
and sca  
decision  
often ra  
do child  
persona  
the righ  
and bra  
indicat  
the righ  
compar  
to learn  
tain bel  
issue is  
the age  
vide con  
make in  
The reg  
consent  
control  
thinkin  
biomark  
A rela  
and own  
right to  
potentia  
screen o  
ethicists  
edents fo  
example  
sue data

# 新サイエンスカフェから円卓会議へ

- MEG/NIRS幼稚園保護者カフェ Feb.2011
- オキシトシン市民むけシンポジウムと熟議
- 雇用調査報告と企業経営者・人事担当者カフェ
- 幼児期から大学までの特別支援教育問題市民討論
- 金沢独特「町内会 - 公民館システム」カフェ
- お寺カフェ、商店街カフェ

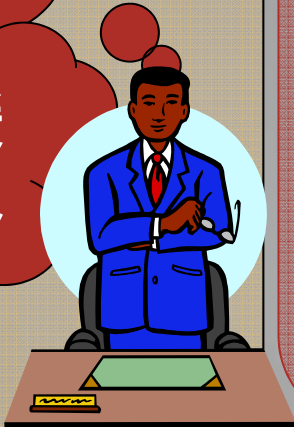


\* 市民のニーズ  
とリテラシー  
\* 研究者のニ  
ーズとリテラシー  
\* 共同の作法

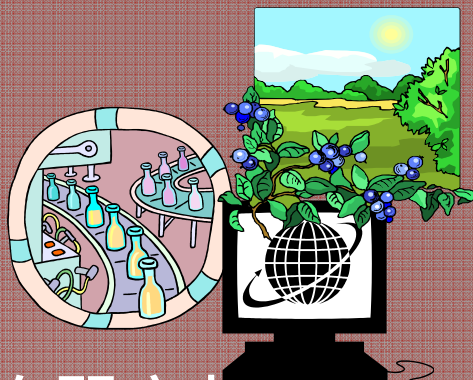
共同体で議論すべき課題の限定  
共同体のミッションの厳選  
共同体の組織論の検討  
2012国際シンポジウム  
市民 + 金沢市 + 大学の連携

企業競争は  
厳しい。雇  
用は無理？

特別支援  
教育の未  
整備



「自閉症博士  
団」等と連携

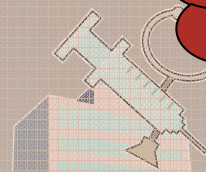


自閉症者主体の  
企業モデル

生物マー  
カーと治療



発見支援  
技術開発

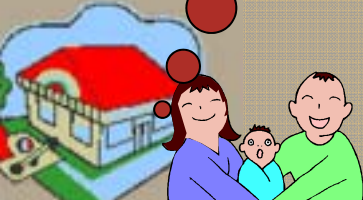


自閉症研究拠点形成

非常口



アトリスク  
幼児はどう  
成長？

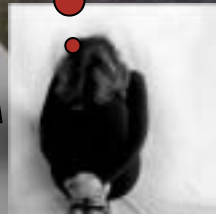


地域自閉症  
共生・治療  
共同体

苦しみ  
を和ら  
げたい

医療福祉教育労働法  
制の制約 特区？

発達障害対  
策を主要公  
約の1つに  
プロジェクト  
メンバー  
金沢市長に  
当選。







「自閉症特区」における学校教育の規制緩和の必要性  
大学教育も含めて見直すことがありうる（ex.医学科目が履修の大半の哲学専攻自閉症学生等）

最初は刷毛のスベリも悪かったものの、呑み込みの早い不登校アスペルガー中学生は、短時間でこの技法をマスター。手際のいい作業に親方も満足げ。



# なぜ特区か？

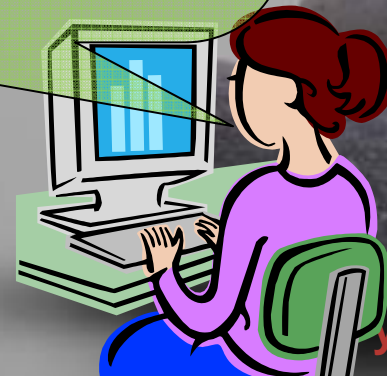
- 乳幼児期発見から高齢期支援まで、制度疲労・硬直化した資源見直し
- 規制 中学生の長期徒弟修業は学校教育に含まれない、大学生の長期インターンシップも困難。大学病院は混合診療ができない。
- 企業へのインセンティブ

# 事実をして語らしめよ！

旧帝大文系卒→国家公務員→建前本音トラブル  
→1年半後に診断・休職 人生設計の模索

「学生生活は順調だったけど、職業生活の段階でズッコケた。就活に苦戦、なんとか就職。ところがどっこい、仕事で求められる能力がとことん弱点だった！弱点は発達障害の特性から来るものだとわかり、強みを生かす方向で策を練る」

2011.3.9「自閉症に優しい社会」研究会ゲスト



your name

# 総合特区とは

- 政府では、「新成長戦略～『元気な日本』復活のシナリオ～」（H22.6.18 閣議決定）に基づき、地域の責任ある戦略、民間の知恵と資金、国の施策の「選択と集中」の観点を最大限活かし、規制の特例措置や税制・財政・金融上の支援措置等をパッケージ化して実施する「総合特区制度」の創設を予定しています。
- 「地域活性化総合特区（仮称）」は、全国で展開し、地域の知恵と工夫を最大限活かし、地域の自給力と創富力を高めることにより、地域資源を最大限活用した地域力の向上を図るため、必要な規制の特例措置及び税制・財政・金融上の支援措置等、「新しい公共」との連携を含めた政策パッケージを講じることを予定しています。

# 2012.9に期待する状態

- 「自閉症共生・治療共同体」の組織論、使命と当面の合意が必要な論点の明示（共同体自体の是非を含む）
- 市民が支持する自閉症科学の在り方検討の開始
- 市民と研究者共同による「現代社会と自閉症」（仮）の出版構想の策定
- NPO（例 金沢「自閉症の虹」）の発足準備
- 新NPO（準）・自閉症「市民ブレイン」・金沢市・金沢大学の連携協定、市条例化提案
- 「自閉症に優しい街」金沢構想の策定（町内会単位での自閉症サイエンスカフェ定期開催）
- 研究者と市民による自閉症友好的企業モデル our name



# M.ポラニー一流の市民と科学者の共同性の確立による解の模索

自閉症は1980年以降なぜ爆発的に増えているのか？

自閉症の、人間と社会にとっての意味は何か？

自閉症が苦難の原因となる事態に社会はどのように対処すべきか



利害有る市民

利害無き市民

生物医学研究

遺伝変異・抗毒素・薬物・加工食品・生殖医療……

人文社会科学研究

徹底した「悪魔のひき白」(K.ポラニー)グローバル資本主義への対応の選択肢(人間の自己改造か、互酬と再配分か?)

your name

# 研究者のさらなる補強

- 科学哲学 「自閉症共生・治療共同体」は。オーウェル流の社会による個人の脳の支配につながらないか？
- 経済学・経営学 自閉症問題の社会化のメカニズムの究明と、自閉症フレンドリーな企業モデルのデザイン、脳科学との連携（神経経済学など）

# NPO金沢「自閉症の虹」？

- 虹 = 自閉症のスペクトラム
- 虹 = 多様な関与者集団
- 虹 = 自閉症者と非自閉症者の架け橋
- 虹 = グローカル 金沢から世界発信

somewhere over the rainbow

